

# 大学生の余暇指向について (I)

平 木 宏 児

## About the Tendency of Leisure of College Students (I)

Koji HIRAKI

### I は じ め に

生涯教育については、1960年カナダのモントリオールで開かれた国際成人教育会議で「成人教育は、いわゆる学校教育終了後の継続ではなく、生涯教育過程の一環である」ことが認識され、1967年には国際大学成人教育協議会 (International Congress of University Adult Education) が召集され、生涯教育の概念を明確にするためのセミナーがニューヨーク大学で開かれ、「統合的な生涯学習または生涯教育 (life-long integrated learning or education)」について、個人の生涯にわたって“ゆりかごから墓場まで”の学習が統合的に計画されなければならない。すなわち学校教育と社会教育 (成人教育) とが基本的に一貫した教育計画として展開させ、さらに学習すべき各分野がバラバラでなく、従来の一般教養と職業教育とが矛盾することなく全体的関連をもち全人的教育という視点で統合されなければならないと、統合の意味が明確にされた。

生涯教育を体育の面から考えてみると、体育が生涯にわたってなされるべきものであるならば、学校体育とか社会体育が、それぞれの立場でカリキュラムを編成するというのでは不十分であり、幼稚園・小・中・高・大学の体育と社会体育とが、生涯体育という観点から統合的に計画されて行かななければならないと言える。学校体育や社会体育等については一応確立されているが、生涯体育についての研究が早急になされなければならない。

生涯体育と大きな関わりをもつ余暇意識について、余暇開発センターによると、「仕事よりも余暇に生きがいを求める」という人が10.0%、「仕事は要領よく片づけて、出来るだけ余暇を楽しむ」24.5%となり、『余暇重視派』が34.5%となったと発表している。

本調査では、生涯体育の基礎をなすべき大学生について、余暇の実態と余暇の活用について調査を試みた。

## Ⅱ 調査方法

### 1 調査対象及び方法

- ① 1993年5月2日読賣新聞「休暇と余暇」の世論調査アンケート項目を大学生用に作成、  
（別表）質問紙法により調査。また、日常の余暇について調べるため、1週間の生活状況について調査した。
- ② 調査期間は1993年5月7日から20日間
- ③ 授業受講生153名（男子85名・女子68名）と生活状況については26名について調査した。

#### 別表

#### 余暇に関する調査

I あなたは、この一年間に、通常の休日や祝日を含め、一度に何日ぐらいの連続した休暇や余暇を取りましたか。一番長かった日数をお答え下さい。

- ① 3日未満      ③ 一週間ぐらい      ⑤ 2週間ぐらい      ⑦ 1カ月ぐらい  
② 3～6日      ④ 10日ぐらい      ⑥ 3週間ぐらい      ⑧ 1カ月以上

II 【前問で一週間未満と答えた人に】一週間以上の連続した休暇や余暇を取らなかった理由を、いくつでもあげて下さい。

- ① 家事や学業が忙しかったから  
② 経済的な余裕がなかったから  
③ まとまった休暇がクラブ活動でとれなかったから  
④ アルバイトで休暇がとれなかった  
⑤ 数日ずつ何度かに分けて取る方が良かったから  
⑥ 暇をもてあますと思ったから

III 【前問で一週間以上と答えた人に】この一年間に、一週間以上の連続した休暇や余暇を何回取りましたか。

- ① 1回      ③ 3回      ⑤ 5回  
② 2回      ④ 4回      ⑥ 6回以上

IV あなたは、この一年間の連続した休暇や余暇を、主にどのようにして過ごしましたか。次の中から、いくつでもあげて下さい。

- ① 何もしないで自宅でのんびり休養した  
② 家族とのだんらん  
③ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などを見て過ごした  
④ 日ごろできない読書や勉強、けいこごとをした  
⑤ 趣味や娯楽、鑑賞（映画、展覧会、演劇、スポーツの試合など）  
⑥ 軽い運動やスポーツ（テニス、水泳、ゴルフ、散歩など）  
⑦ ゲームやギャンブル（パチンコ、競馬など）  
⑧ ショッピングや外食  
⑨ ボランティア活動や地域活動  
⑩ 野外レジャー（森林浴やハイキング、キャンプなど）  
⑪ 日帰りの行楽やドライブ  
⑫ 帰省  
⑬ 一泊以上の国内旅行  
⑭ 海外旅行  
⑮ その他

V 【前問で「一泊以上の国内旅行」を答えた人に】その国内旅行の目的を、次の中から、いくつでもあげて下さい。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ① 避暑や避寒           | ⑤ スポーツやレクリエーションをする |
| ② 温泉にはいる          | ⑥ 美しい自然に接する        |
| ③ 名所旧跡を訪ねる        | ⑦ 郷土芸能や祭などを見る      |
| ④ 名物料理やおいしいものを食べる | ⑧ その他              |

VI 【前問で「海外旅行」を答えた人に】その海外旅行の目的を、次の中から、いくつでもあげて下さい。

- ① 避暑や避寒
- ② 古い街並みや建物、史跡、美術館などを訪ねる
- ③ 外国の人たちのふだんの生活に接する
- ④ 本場の料理やおいしいものを食べたり買い物をする
- ⑤ スポーツやレクリエーションをする
- ⑥ 美しい自然に接する
- ⑦ 祭や特色のある行事を見る
- ⑧ 外国の言葉や文化を勉強する
- ⑨ その他

VII あなたは、連続した休暇や余暇を過ごすのに、この一年間にどれくらいの費用をかけましたか。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ① 5万円未満       | ⑥ 40万円～50万円未満   |
| ② 5万円～10万円未満  | ⑦ 50万円～100万円未満  |
| ③ 10万円～20万円未満 | ⑧ 100万円～200万円未満 |
| ④ 20万円～30万円未満 | ⑨ 200万円以上       |
| ⑤ 30万円～40万円未満 |                 |

VIII あなたは、連続した休暇や余暇を過ごすための知識や情報を、主にどこから得ていますか。次の中から、いくつでもあげて下さい。

- |           |               |       |
|-----------|---------------|-------|
| ① 新聞      | ⑤ ポスター・パンフレット | ⑨ その他 |
| ② テレビ・ラジオ | ⑥ 友人・知人       |       |
| ③ 一般雑誌    | ⑦ ダイレクトメール    |       |
| ④ 専門情報誌   | ⑧ 街の中で        |       |

IX あなたは、連続した休暇や余暇をだれと一緒に過ごすことが最も多いですか。次の中から、一つあげて下さい。

- |           |              |        |
|-----------|--------------|--------|
| ① 家族      | ④ 大学の友人      | ⑦ ひとりで |
| ② 知人      | ⑤ クラブやサークルの人 | ⑧ その他  |
| ③ 高等学校の友人 | ⑥ 地域や幼なじみの仲間 |        |

X あなたは、いまよりも長い休暇や余暇がほしいと思いますか、そうは思いませんか。

- ① そう思う
- ② そうは思わない

XI 【前問で「そう思う」を答えた人に】連続休暇や余暇の取り方で、あなたがまず重視したいものを、次の中から、一つだけあげて下さい。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ① 一回の連続休暇の日数を長くする | ③ 連続休暇の時期を自由に選べるようにする |
| ② 連続休暇の回数を多くする    | ④ その他                 |

XII いま仮に、10日以上連続した休暇や余暇が取れるとしたら、あなたの一番したいことは何ですか。次の中から、一つだけあげて下さい。

- ① 一か所滞在型の海外旅行
- ② 一か所滞在型の国内旅行
- ③ 観光地をめぐる海外旅行
- ④ 観光地をめぐる国内旅行
- ⑤ 帰省
- ⑥ 日帰りの行楽やドライブ
- ⑦ 家族とのだんらん
- ⑧ 友人、知人との交際
- ⑨ 野外レジャー（森林浴、ハイキング、キャンプなど）
- ⑩ ボランティア活動や地域活動

## 大学生の余暇指向について（Ⅰ）

- ⑪ 軽い運動やスポーツ（テニス、水泳、ゴルフ、散歩など）
- ⑫ 知識や教養を高めるための学習や勉強
- ⑬ 何もしないで自宅でのんびり休養
- ⑭ 趣味や娯楽、鑑賞（映画、展覧会、演劇、スポーツの試合など）
- ⑮ その他
- ⑯ とくにない

XⅢ【前問で一番したいことを答えた人に】今後一年ぐらいの間に、それを実現できると思いますか、思いませんか。

- ① できる
- ② できない

XⅣ【前問で「できない」と答えた人に】実現できないと思う理由を、次の中から、いくつでもあげて下さい。

- ① 家事や仕事が忙しい
- ② お金がない
- ③ 情報がない
- ④ 仲間がいない
- ⑤ 行動力がない
- ⑥ 気持ちのゆとりがない
- ⑦ クラブ活動で環境が整っていない
- ⑧ その他

## 2 調査結果及び考察

### 1) 休暇の日数と回数

あなたはこの一年間に、通常の休日や祝日を含め、一度に何日ぐらいの連続した休暇や余暇をとりましたかという問については（表1）、いちばん長かった日数は、「一か月以上」が44.97%で一位を示した。これは勤労者が一週間以内で70.6%と7割の人が一週間以内というのと比べると大学生は春・夏・冬それぞれに長期の休暇があることから当然といえる。一か月以上と答えた人のうち性別では、男子48.24%、女子48.53%とほぼ同様であるが、自宅生52.63%に対して、自宅外生では一人もいないという結果であった。これは、自宅外生においては、実家に帰って初めて休暇という意識になってくるからではないかということが推察される。

しかし、反対に大学生では短いと思われる「一週間以内」は24.25%の人がおり、それらの理由については（表3）、「家事や学業が忙しい」・「アルバイトでまとまった休暇がとれない」が、それぞれ32.69%でその理由にあげている。この両者を合わせると65%を占め、勤労者の「家事や仕事が忙しい」66.3%とほぼ同じような数値を示していることになる。アルバイトを理由にあげている人の内、自宅生が50.00%で自宅外生は30.77%で、「家事や勉強」を理由にあげている人は自宅生35.71%、自宅外生53.85%と自宅生と自宅外生では、短い理由について反対の数値を示している。このことは自宅外生は当然のことながら家事が必要となるので反対の結果がでてきたものと思われる。

一週間以上休暇がとれた人の回数については（表2）、「三回」が31.29%と一位で、勤労者の調査においても17.9%と一位を示している。両調査とも一位ということは、長期休暇が春・夏・冬にそれぞれ休暇があるものと考えられる。本調査のこの項目で、答無しが23.13%



と多かったのは、大学生の長期休暇が多くて答えられなかったものと思われる。

表1 最高日数

|             | 大学生    | 勤労者    |
|-------------|--------|--------|
| 三 日 未 満     | 4.73%  | 21.30% |
| 3 ～ 6 日     | 11.24% | 27.00% |
| 1 週 間 ぐ ら い | 8.28%  | 22.30% |
| 10 日 ぐ ら い  | 4.14%  | 9.00%  |
| 2 週 間 ぐ ら い | 4.14%  | 1.70%  |
| 3 週 間 ぐ ら い | 4.14%  | 0.60%  |
| 1 カ 月 ぐ ら い | 9.47%  | 1.10%  |
| 1 カ 月 以 上   | 44.97% | 5.10%  |
| 答 無 し       | 8.88%  | 11.90% |

表2 回 数

|         | 大学生    | 勤労者    |
|---------|--------|--------|
| 一 回     | 14.29% | 34.00% |
| 二 回     | 13.61% | 34.00% |
| 三 回     | 31.29% | 17.90% |
| 四 回     | 10.88% | 3.30%  |
| 五 回     | 2.04%  | 1.00%  |
| 六 回 以 上 | 4.76%  | 6.00%  |
| 答 無 し   | 23.13% | 3.80%  |

表3 短い理由

|                                         | 大学生    | 勤労者    |
|-----------------------------------------|--------|--------|
| 家 事 や 学 業 が 忙 し か っ た か ら               | 32.69% | 66.30% |
| 経 済 的 な 余 裕 が な っ た か ら                 | 9.62%  | 15.90% |
| ま と ま っ た 休 暇 が な っ た か ら               | 9.62%  | 18.50% |
| ア ル バ イ ト で 休 暇 が と れ な っ た か ら         | 32.69% | —      |
| 数 日 ず つ 何 度 か に 分 け て と る 方 が 良 っ た か ら | 5.77%  | —      |
| 暇 を 持 て 余 す と 思 っ た か ら                 | 9.62%  | 3.90%  |

## 大学生の余暇指向について（Ⅰ）

### 2) 過ごし方と目的

長期の休暇中の過ごし方について、複数回答を求めたところ（表4）、大学生の一位は「何もしないで自宅でのんびり休養した」75.16%、ついで「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等を見て過ごした」69.28%、三位が「ショッピングや外食」59.48%と、以上三つの項目が上位を占め、勤労者では、「休養」32.3%、「ドライブ」28.3%、「国内旅行」28.2%の順となっている。その他の項目もかなりあるが、大学生では、「休養」「テレビ・雑誌など」において、勤労者より高い数値を示している。このことは大学生の長期休暇が多いことも理由にあげられるが、学生と勤労者の長期休暇の過ごし方は、何もしないで自宅でのんびり休養、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等を見て過ごした、等が高い数値を示していることから、学生の方が目的を持った過ごし方をしていないものが多いといえよう。男女別では、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、などを見て過ごした」男子57、65%女子82、35%と若干女子の方が多く自宅でのんびり休養したのも女子が同様の傾向がみられることから、男子より女子の方が家にいることが多いことがうかがえる。

一泊以上の国内旅行をした人の目的については（表5）、一位が「スポーツやレクリエーションをする」43.08%で、つづいて「温泉にはいる」38.46%、「名所旧跡を訪ねる」35.38%

表4 過ごし方

|                       | 大学生    | 勤労者    |
|-----------------------|--------|--------|
| 何もしないで自宅でのんびり休養した     | 75.16% | 32.30% |
| 家族との団らん               | 28.76% | 27.00% |
| テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等を見て過ごした | 69.28% | 21.90% |
| 日頃できない読書や勉強、けいごとをした   | 24.84% | 5.10%  |
| 趣味や娯楽、鑑賞              | 43.79% | 14.60% |
| 軽い運動やスポーツ             | 33.33% | 13.80% |
| ゲームやギャンブル             | 26.14% | 4.90%  |
| ショッピングや外食             | 59.48% | 17.20% |
| ボランティア活動や地域活動         | 3.27%  | 2.00%  |
| 野外レジャー                | 18.30% | 8.40%  |
| 日帰りの行楽やドライブ           | 34.64% | 28.30% |
| 帰省                    | 20.26% | 10.30% |
| 一泊以上の国内旅行             | 42.48% | 28.20% |
| 海外旅行                  | 2.61%  | 6.10%  |
| その他                   | 13.73% | 2.30%  |

表 5 国内旅行目的

|                  | 大学生    | 勤労者    |
|------------------|--------|--------|
| 避暑や避寒            | 7.69%  | 11.20% |
| 温泉にはいる           | 38.46% | 61.60% |
| 名所旧跡を訪ねる         | 35.38% | 39.90% |
| 名物料理やおいしい物を食べる   | 29.23% | 37.80% |
| スポーツやレクリエーションをする | 43.08% | 11.80% |
| 美しい自然に接する        | 27.69% | 37.30% |
| 郷土芸能や祭などを見る      | 3.08%  | 6.70%  |
| その他              | 23.08% | 5.02%  |
| 答 無 し            | 2.08%  | 2.12%  |

表 6 海外旅行目的

|                          | 大学生     | 勤労者    |
|--------------------------|---------|--------|
| 避暑や避寒                    | 25.00%  | 18.00% |
| 古い街並や建物、史跡、美術館などを訪ねる     | 75.00%  | 37.60% |
| 外国の人たちの普段の生活に接する         | 75.00%  | 24.80% |
| 本場の料理やおいしいものを食べたり買いものをする | 50.00%  | 43.60% |
| スポーツやレクリエーションをする         | 50.00%  | 18.80% |
| 美しい自然に接する                | 25.00%  | 36.80% |
| 祭や特色のある行事を見る             | 75.00%  | 9.80%  |
| 外国の言葉や文化を勉強する            | 100.00% | 19.50% |
| その他                      | 0.00%   | 8.30%  |

となった。勤労者では温泉にはいる 61.6% と圧倒的に多いが、大学生では第二位であった。反対に大学生一位のスポーツ・レクリエーションをするは勤労者では 11.8% と低値を示し、休暇に対する意識は、大学生より勤労者の方が休養に重点をおいていることがうかがえた。

一方、海外旅行の目的については（表 6）、海外旅行に参加したものが少ないが、「外国の言葉や文化を勉強する」が 100% と全員であった。つづいて「古い街並や建物、史跡、美術館などを訪ねる」・「外国の人たちの普段の生活に接する」・「祭や特色のある行事を見るが」75% となっている。勤労者の一位である「本場の料理やおいしいものを食べたり買いものをする」のは、大学生では上位に入ってこなかった。

長期の休暇を誰と過ごすかと言う間については（表 9）、「高等学校の友人」32.68% で一位、

大学生の余暇指向について（Ⅰ）

表9 相 手

|                     | 大学生    | 勤労者    |
|---------------------|--------|--------|
| 家 族                 | 23.53% | 49.20% |
| 知 人                 | 12.42% | 21.20% |
| 高 等 学 校 の 友 人       | 32.68% | —      |
| 大 学 の 友 人           | 3.27%  | —      |
| ク ラ ブ や サ ー ク ル の 人 | 5.88%  | —      |
| 地 域 や 幼 な じ み の 仲 間 | 9.15%  | 1.70%  |
| ひ と り で             | 9.15%  | 4.40%  |
| そ の 他               | 3.92%  | 5.80%  |

つづいて「家族」23.53%、「知人」12.42%の順で、勤労者の一位である家族と一緒に49.2%と違うことをうかがわせ、大学生期においては、家族より高等学校の友人が大きなウェイトを持っているものと思われる。

### 3) 連続休暇・余暇への欲求

もし、連続した休暇や余暇がとれるとしたら、今一番したいことは何ですかということについては（表12）、「知人・友人との交際」18.95%、「一カ所滞在型の海外旅行」15.69%、「観光地をめぐる海外旅行」13.73%、「観光地をめぐる国内旅行」10.46%、の4項目が10%以上を示し、一位の知人友人との交際は、勤労者では3.2%と低値を示し、大学生と勤労者との違いがうかがえられる。その他では、大学生・勤労者共に海外国内に関わらず旅行への関心が高いようである。女子は、海外旅行22.06%が一位で、つづいて国内旅行と帰省が13.24%となり、男子では、友人知人との交際25.88%が一位となっている。すなわち女子は旅行、男子は友人知人との交際となっている。

今より、長期の休暇や余暇が欲しいと思うかという問については（表10）、「欲しいと思う人」が61.44%と6割以上の人が欲している。勤労者で欲しいと思う人は48.8%で、長期休暇が多いと思われる大学生の方が勤労者を上回っていた。もっと長期休暇や余暇が欲しいと思う人の長期休暇の取り方で最も重視していることは（表11）、「連続休暇の回数を多くする」46.81%、「連続休暇の時期を自由に選べるようにする」40.43%で、このことは勤労者の傾向と同様である。性別では、男子は高等学校の友人40.00%で、家族と一緒に15.29%に対して、女子は家族と一緒に33.82%、高等学校の友人23.53%で、男子と女子の違いがうかがえた。また、住居及び活動別においても違いがみられる、自宅生は高等学校の友人36.84%、下宿生は家族と一緒に30.77%、活動ありでは家族と一緒に25.68%、活動無しでは高等学校の友人

平 木 宏 児

表 10 欲 求

|               | 大学生    | 勤労者    |
|---------------|--------|--------|
| そ う 思 う       | 61.44% | 48.80% |
| そ う は 思 わ な い | 37.91% | 45.90% |
| 答 な し         | 6.50%  | 5.30%  |

表 11 連続休暇

|                               | 大学生    | 勤労者    |
|-------------------------------|--------|--------|
| 一 回 の 連 続 休 暇 の 日 数 を 長 く す る | 11.70% | 21.80% |
| 連 続 休 暇 の 回 数 を 多 く す る       | 46.81% | 34.20% |
| 連続休暇の時間を自由に選べるようにする           | 40.43% | 41.50% |
| そ の 他                         | 1.06%  | 0.40%  |
| 答 無 し                         | 0.00%  | 2.10%  |

表 12 連続休暇の過ごし方

|                                   | 大学生    | 勤労者    |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 一 カ 所 滞 在 型 の 海 外 旅 行             | 15.69% | 12.30% |
| 一 カ 所 滞 在 型 の 国 内 旅 行             | 9.80%  | 10.40% |
| 観 光 地 を め ぐ る 海 外 旅 行             | 13.73% | 14.20% |
| 観 光 地 を め ぐ る 国 内 旅 行             | 10.46% | 24.50% |
| 帰 省                               | 5.88%  | 2.60%  |
| 日 帰 り の 行 楽 や ド ラ イ ブ             | 1.96%  | 2.20%  |
| 家 族 と の 団 ら ん                     | 0.00%  | 3.40%  |
| 友 人, 知 人 と の 交 際                  | 18.95% | 3.20%  |
| 野 外 レ ジ ャ ー                       | 6.54%  | 2.60%  |
| ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 や 地 域 活 動         | 1.96%  | 0.60%  |
| 軽 い 運 動 や ス ポ ー ツ                 | 3.27%  | 1.90%  |
| 知 識 や 教 養 を 高 め る た め の 学 習 や 勉 強 | 1.31%  | 1.40%  |
| 何 も し な い で 自 宅 で の ん び り 休 養     | 2.61%  | 6.40%  |
| 趣 味 や 娯 楽, 鑑 賞                    | 2.61%  | 3.60%  |
| そ の 他                             | 3.92%  | 3.00%  |
| と く に な い                         | 0.00%  | 8.30%  |
| 答 な し                             | 0.00%  | 0.00%  |

大学生の余暇指向について（Ⅰ）

表 13 連続休暇の可能性

|         | 大学生    | 勤労者    |
|---------|--------|--------|
| で き る   | 57.52% | 36.70% |
| で き な い | 39.87% | 59.90% |
| 答 無 し   | 2.61%  | 3.40%  |

表 14 実現できない理由

|                               | 大学生    | 勤労者    |
|-------------------------------|--------|--------|
| 家 事 や 仕 事 が 忙 し い             | 27.87% | 68.50% |
| お 金 が な い                     | 85.25% | 38.90% |
| 情 報 が な い                     | 4.92%  | 0.70%  |
| 仲 間 が い な い                   | 4.92%  | 1.70%  |
| 行 動 力 が な い                   | 19.67% | 5.60%  |
| 気 持 ち の ゆ と り が な い           | 13.11% | 11.60% |
| ク ラ ブ 活 動 で 環 境 が 整 っ て い な い | 9.84%  | 3.00%  |
| そ の 他                         | 11.48% | 1.10%  |

43.04% とそれぞれの一位に違いを見せている。これらのことから、一緒に過ごす相手は環境によって違いがあるものと思われる。

連続休暇の可能性については（表 13）、大学生は「出来る」としたものが 57.52% で、勤労者と反対の数値を示している。「出来ない」と答えた人たちの理由については（表 14）、圧倒的に「お金がない」という理由が多かったのは学生たちであった。

#### 4) 費用と情報

この一年間の長期休暇中にどのくらいの費用をかけたかと言う問については（表 7）、「5 万円未満」39.22%、「5 万円から 10 万円未満」22.88%、「10 万円から 20 万円未満」19.61%、の順となり、勤労者とほぼ同様の傾向を示している。

長期休暇や余暇を過ごすための情報をどの様に得ているかと言うことについては（表 8）、「友人・知人から」76.47%、次いで「マスコミ関係の、テレビ・ラジオ」41.83%、「一般雑誌」40.52% となっている。ここでは勤労者についても同様の傾向がみられるが、比率の上で大学生の方が、友人・知人からの情報が多いことが伺える。

表7 費 用

|                         | 大学生    | 勤労者    |
|-------------------------|--------|--------|
| 5 万 円 未 満               | 39.22% | 30.30% |
| 5 万 円 か ら 10 万 円 未 満    | 22.88% | 21.90% |
| 10 万 円 か ら 20 万 円 未 満   | 19.61% | 17.00% |
| 20 万 円 か ら 30 万 円 未 満   | 3.27%  | 9.10%  |
| 30 万 円 か ら 40 万 円 未 満   | 1.31%  | 4.20%  |
| 40 万 円 か ら 50 万 円 未 満   | 0.65%  | 2.30%  |
| 50 万 円 か ら 100 万 円 未 満  | 2.61%  | 3.10%  |
| 100 万 円 か ら 200 万 円 未 満 | 0.65%  | 1.30%  |
| 200 万 円 以 上             | 0.00%  | 0.10%  |
| 答 無 し                   | 9.80%  | 10.50% |

表8 情 報 源

|                       | 大学生    | 勤労者    |
|-----------------------|--------|--------|
| 新 聞                   | 20.92% | 36.00% |
| テ レ ビ ・ ラ ジ オ         | 41.83% | 41.60% |
| 一 般 雑 誌               | 40.52% | 20.00% |
| 専 門 情 報 誌             | 22.22% | 17.00% |
| ポ ス タ ー ・ パ ン フ レ ッ ト | 30.07% | 12.70% |
| 友 人 ・ 知 人             | 76.47% | 45.00% |
| ダ イ レ ク ト メ ー ル       | 3.92%  | 2.10%  |
| 街 の 中 で               | 20.26% | 2.10%  |
| そ の 他                 | 9.15%  | 1.50%  |

##### 5) 日常の余暇

一週間の生活時間について調査したところ、大学生の日常生活の実態は（表15）で、一日の拘束時間は平均16時間20分でそれ以外の余暇時間は6時間57分となった。拘束時間のうちアルバイトの時間が、大学生としての本分である授業時間（2時間34分）とほとんど変わらない状況である。余暇時間についてみると、パソコン・テレビ・人に会う等が上位を占め現代社会の遊びの特徴が現れているものと思われる。

大学生の余暇指向について（Ⅰ）

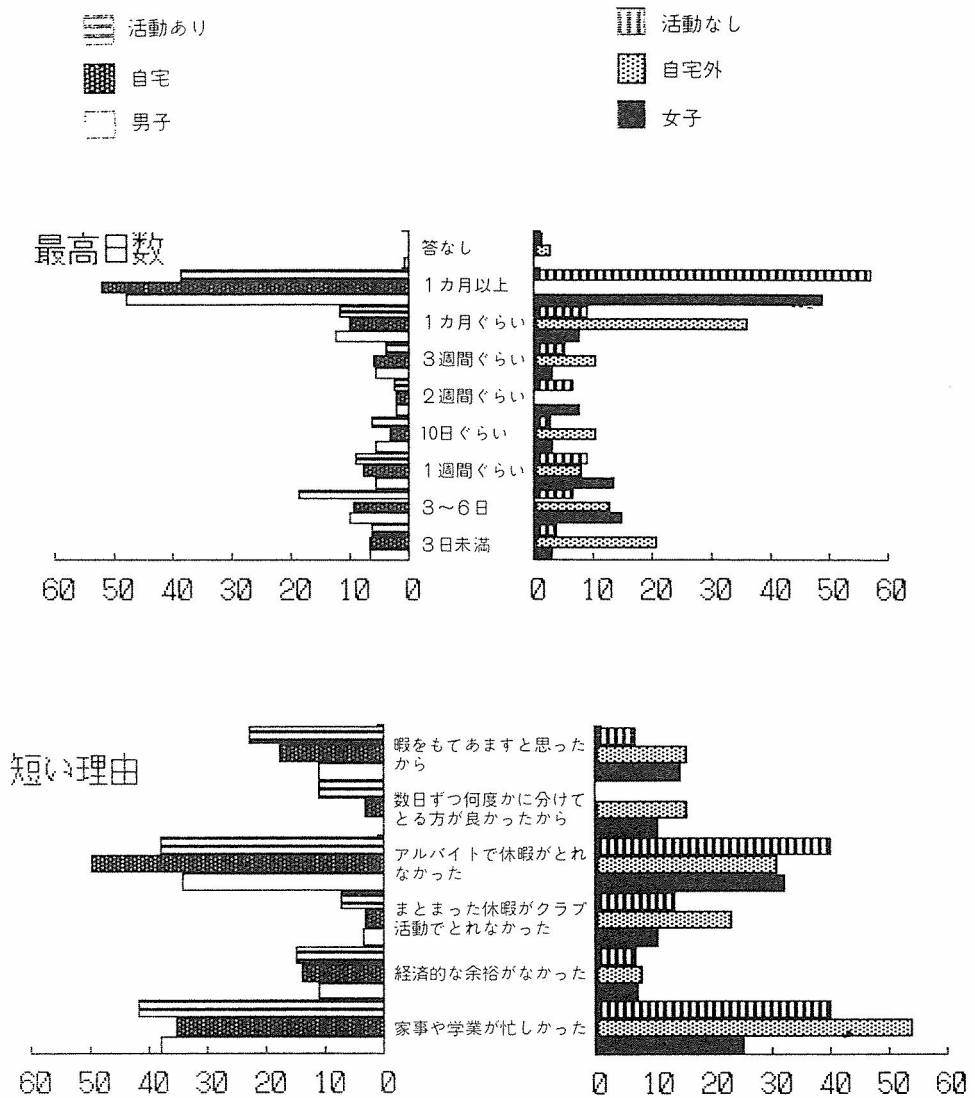
表 15 日常生活の拘束時間と余暇時間

|       |       |       |      |
|-------|-------|-------|------|
| 拘束時間  | 16.18 | 余暇時間  | 6.57 |
| 睡眠    | 7.20  | 友人と遊ぶ | 1.15 |
| 身支度   | 0.52  | 休憩    | 1.21 |
| 食事    | 1.30  | 仮眠    | 1.00 |
| 通学時間  | 1.53  | パソコン  | 4.54 |
| 授業    | 2.34  | テレビ   | 2.23 |
| アルバイト | 2.53  | パチンコ  | 1.08 |
|       |       | アルバイト | 1.37 |
|       |       | 人に会う  | 2.14 |
|       |       | クラブ活動 | 1.43 |
|       |       | 音楽鑑賞  | 1.35 |
|       |       | 習い事   | 1.08 |

（単位：時間）



図 性・住居・活動別比較



大学生の余暇指向について（I）

図 性・住居・活動別比較

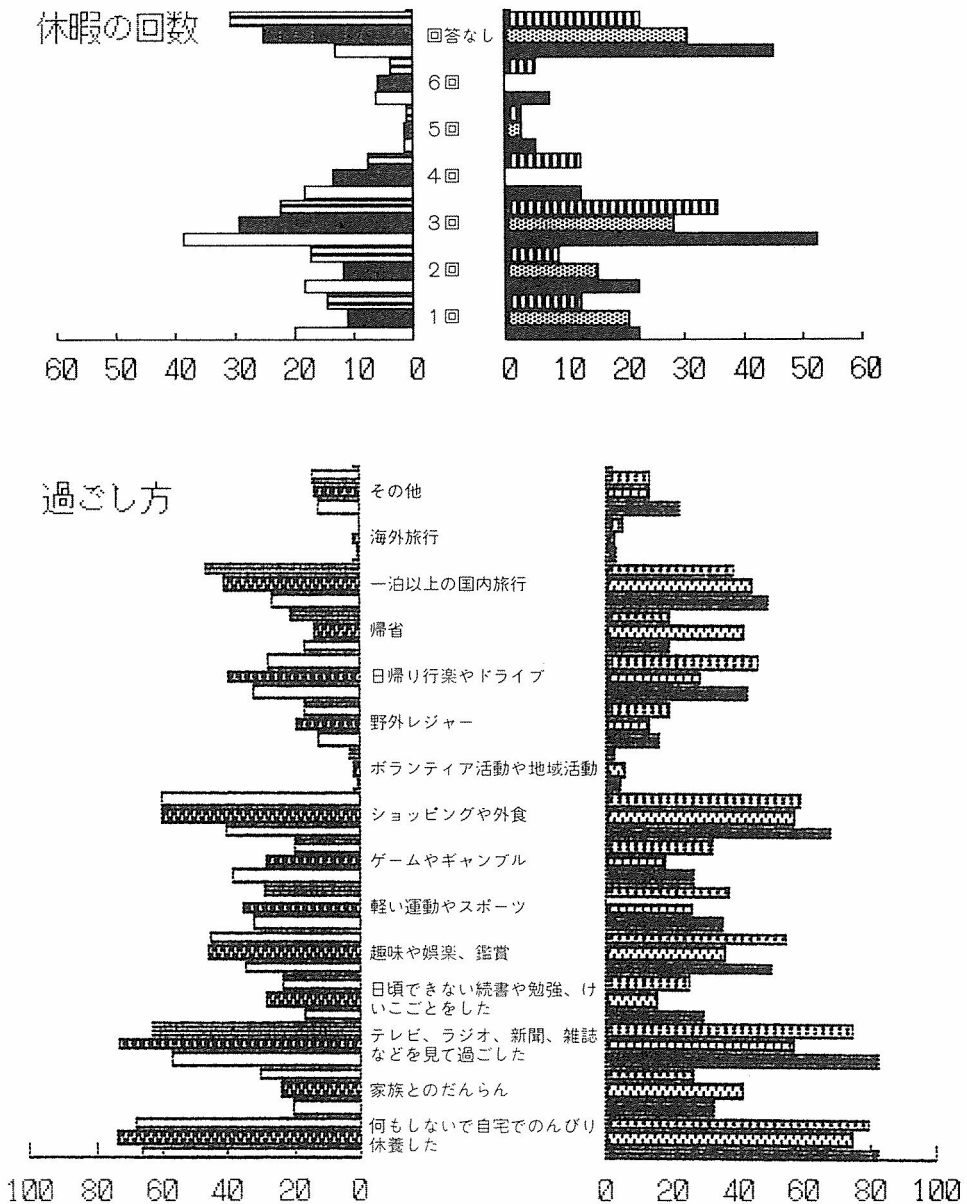
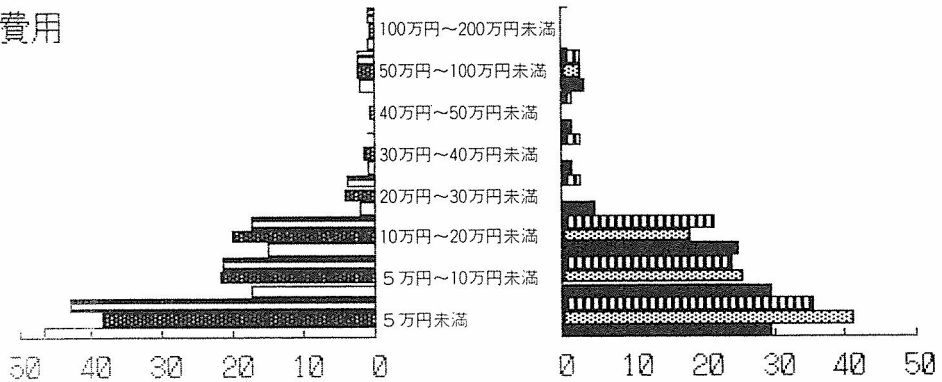
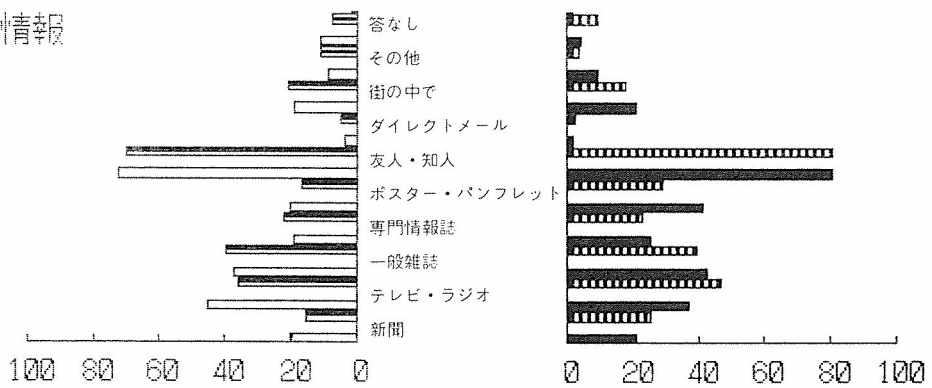


図 性・住居・活動別比較

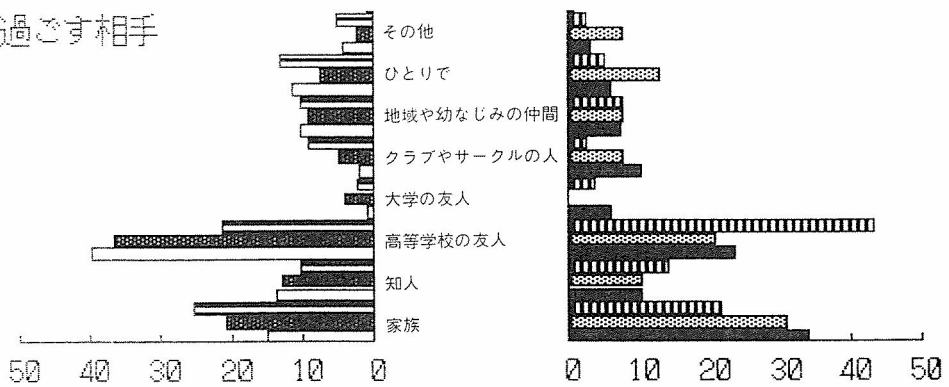
費用



情報

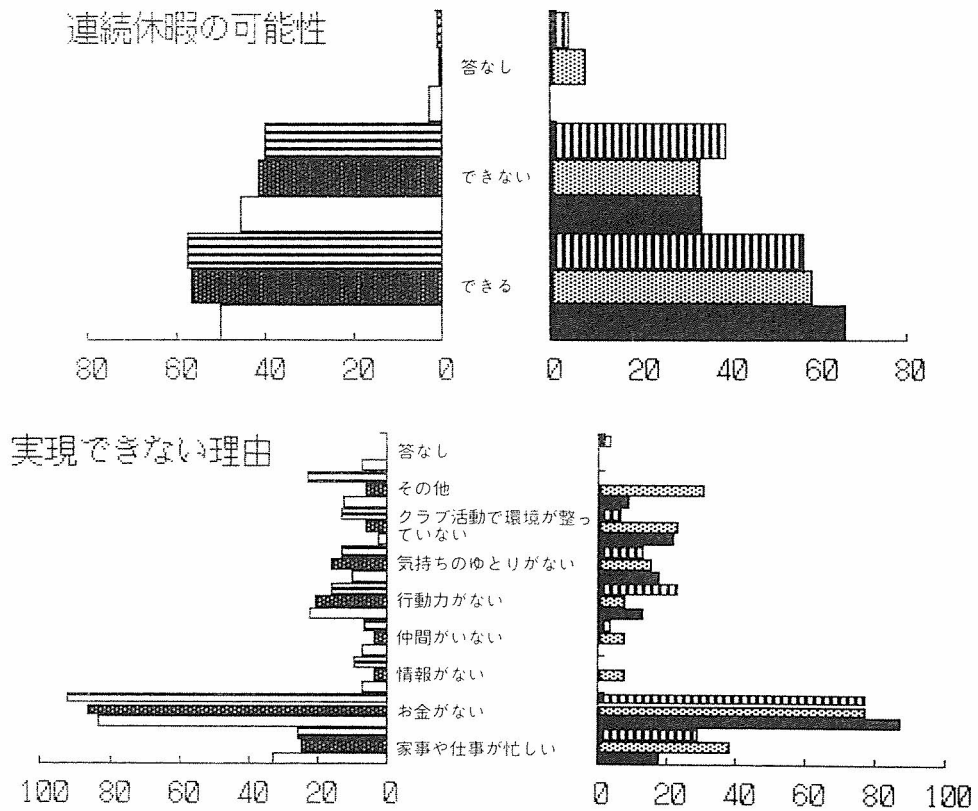


過ごす相手



大学生の余暇指向について（I）

図 性・住居・活動別比較



### 3 ま と め

- ① 休暇の日数と回数については当然のことであるが、勤労者に比べ大学生が日数・回数とも多いが、日数については自宅生と自宅外生では自宅外生の方が短いようで、その短い理由に「家事や学業」と「アルバイト」が多いが、自宅生はアルバイト、自宅外生は家事や学業となっていることから、自宅外生は家事にかかる負担があるものと思われる。
- ② 休暇の過ごし方については、大学生は勤労者より目的が少ない過ごし方をしているようで、また、男子と女子の比較では女子の方が家にいる人が多いようである。  
旅行の目的については、大学生はスポーツやレクリエーション、勤労者は温泉に入ると目的は若干の違いを見せている。  
誰と過ごすかと言うことについては、大学生は高等学校の友人が一位で、勤労者の家族と言う答との違いを見せている。
- ③ 連続した休暇や余暇がとれたら一番したいことはについては、大学生は知人・友人との交際が一位で勤労者との違いをうかがわせた。また、その傾向は女子より男子の方が多いようである。  
現在より休暇や余暇をもっと欲しいと考えているものは約6割にものぼり、これは大学生に比べ休暇が少ない勤労者より多い。
- ④ 休暇や余暇にかかる費用としては、5万円から10万円という結果であった。また、休暇や余暇を過ごすための情報源については、知人・友人からというのが圧倒的に多いようである。
- ⑤ 日常の余暇時間は約7時間で、その過ごし方の内アルバイトが授業時間とほとんど変わらないと言う結果で、大学生にとってアルバイトが不可欠なことのようである。その他の過ごし方については、パソコン・テレビ等が上位を占め現代社会を象徴していることがうかがえた。

### 引 用 文 献

- ① 体育原理研究会『生涯体育論』不味堂出版 昭和48年
- ② ポール・ラングラン 波多野完治訳『生涯教育入門』全日本社会教育連合会 平成2年
- ③ 体育社会学研究会編『スポーツ参与の社会学』道と書院 昭和59年
- ④ 波多野完治『生涯教育論』(株)小学館 1989年
- ⑤ 関西社会学研究会『体育・スポーツ社会学の源流』道と書院 昭和63年
- ⑥ 大石三四郎『レクリエーション哲学』逍遙書院 昭和50年

1993年9月30日 受理